

6 8 農 業 政 策 に つ い て

(1) 朝 市 ・ 夕 市 に つ い て

朝市の名称	開催場所	開催日 (開催時間)
農家生活研究会 朝市部会 ふれあい朝市	文化会館駐車場	土曜日 (7:30～8:30)
	東葛病院駐車場	月～土曜日 (8:45～11:45)
コスモス会 ふれあい朝市	海老原邸車庫前 (名都借)	土曜日 (8:45～9:45)
J A とうかつ中央 流山青壮年部 新川支部青空市	江戸川台駅東口	7月の土曜日 (16:00～18:00)
うんがいい！ 朝市	運河水辺公園	第4土曜日 (8:30～12:30)
南流山の朝市	南流山駅前 公園広場	第1～4土曜日 (8:30～11:00)
さつき会朝市	J A とうかつ中央 流山支店駐車場	土曜日 (9:00～15:00)

(2) 市 内 で 生 産 さ れ て い る 主 な 農 産 物 加 工 品

- ・ 穀 物 のしもち、あられ、味噌
- ・ 葉 物 類 白菜づけ、きゅうりづけ、なすの漬け物
- ・ 根 菜 類 大根づけ、かぶの漬け物、いもがら、こんにゃく

(3) 価 格 補 償 制 度 の 活 用 状 況 (件 数 ・ 経 費 ・ 利 用 農 家 戸 数)

年 度	件 数	経 費		利 用 農 家 戸 数
		事 業 費	補 助 金 額	
平成 2 4 年 度	3 件	2,178,698 円	1,089,200 円	5 1 戸

(千葉県青果物価格補償事業)

(4) アグリサポーター制度の成果及び課題について

■事業を取り巻く状況変化

- ◆高齢化や少子化による農業の担い手不足と市民の農業への関心の高まりといった問題への対応として有効なものと判断して平成18年度から開始しています。
- ◆近年の若年層の就職難が続く中、就農希望者には就農実務の体験として有効な機会にもなりつつあります。

㊦ サポーター登録している市民の数

平成22年度： 76人

平成23年度： 90人

平成24年度： 100人

㊦ 受入れ希望登録している農家の数

平成22年度： 28件

平成23年度： 26件

平成24年度： 26件

㊦ 援農交渉成立件数

平成22年度： 6件

平成23年度： 10件

平成24年度： 9件

■現状・成果・課題

- ◆サポーター登録者が増加傾向にあるということは、広報紙掲載等のPRによる制度の認知度が市民の間で徐々に向上していることと、団塊の世代のセカンドステージの機会として期待されているためと判断します。
- ◆援農交渉成立件数は平成22年度は6件、23年度は10件、24年度は9件です。
- ◆都市化の進行による耕作面積の減少に伴い、サポーター等を必要とする経営規模の農家が限られてしまっていることから、受け入れ希望農家と援農交渉成立件数が伸びていない状況です。

■今後の取組

①サポーター受入れ希望農家の増加

各種団体の会議等の場において制度周知を行います。

②両者の意向調査

実績のあった農家、市民から感想を聴取します。

(5) 認定農業者数及び認定農業者の農産物別生産者数の推移

(単位：人)

		平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年
認定農業者数		46	46	46	46	46	48	53	52	53	44
認定農業者の農産物別生産者数	水稲	26	27	27	27	27	28	31	30	31	24
	ねぎ	15	15	15	15	15	16	16	15	16	12
	ほうれんそう	20	20	19	19	19	20	21	20	20	15
	えだまめ	16	16	16	16	16	17	18	17	17	15
	あおねぎ	13	14	13	13	13	13	14	14	14	13
	花き	9	9	9	9	9	9	9	9	9	7
	ぶどう	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	かぶ	4	4	4	4	4	4	4	4	5	2
	トマト	8	8	8	8	8	8	10	10	11	10
	こまつな	4	4	4	4	4	4	5	5	5	3
	ブロッコリー	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	とうもろこし	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2
	キウイフルーツ	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
その他	25	25	26	26	26	28	28	28	29	22	

資料：農業経営改善計画認定申請書の集計による

(6) 新規営農者数の推移

(単位：人)

	新規営農者数(農業生産法人を含む)
平成 2 0 年度	1
平成 2 1 年度	4
平成 2 2 年度	5
平成 2 3 年度	3
平成 2 4 年度	1

(7) 補助金の利用状況

(国・県・市ごとに補助金名・金額・件数・内容)

【平成 2 4 年度】

歳入

ア. 国庫補助金

補助金等名	金額(円)	件数	内 容
消費・安全対策交付金	532,000	1 件	東日本大震災災害復興特別会計消費・安全対策交付金等交付要綱に基づき、市が実施した、市内産農作物に含まれる放射性物質の分析検査に伴う経費(簡易型放射性物質検査機器のバージョンアップ等を含む。)に対する補助。 ・ 1/2 補助
農業者戸別所得補償制度推進事業費補助金	1,748,000	1 件	県から指示された米の生産量の配分 894.7 t を円滑に実施するための経費の補助。

イ. 雑入

土地改良施設維持管理適正化事業交付金	8,550,000	1 件	維持管理適正化事業に基づく流山排水機場の維持管理に対する交付金 ・ 事業費 9,586,500 円のうち 9,500,000 円の 90%
--------------------	-----------	-----	--

ウ．県補助金

補助金等名	金額(円)	件数	内 容
園芸用廃プラスチック適正化処理対策事業補助金	59,850	1 件	園芸用廃プラスチックの処理等に要する経費の一部に対し、市町村が補助する場合における当該補助に要する経費に対する県補助 ・ 県補助率＝処理量 1 k g 当たり処理単価を乗じて得た額の 4 分の 1 以内 ・ 平成 2 4 年度実績 処理量 6,300kg 県補助単価 9.5 円/1kg

歳出（6・1・3 農業振興費）

エ．市補助金

補助金等名	金額(円)	件数	内 容
保全管理水田維持管理事業奨励金	2,066,900	507 件	農地の荒廃化を防止し、景観の向上と病虫害の発生防止等に寄与することを目的とした奨励金 ・ 農業者 6 円/1 m² ・ 土地改良区 0.5 円/1 m²
高生産推進事業費補助金	4,617,000	1 件	施設の設置や省力化機械の導入費補助 ・ 事業費の 30% 以内
青果物価格安定対策事業費補助金	1,089,200	51 戸	千葉県青果物価格補償事業による葱及び青葱の価格補償費補助 ・ 農業者負担額の 50% 以内
苺生産促進事業費補助金	991,000	1 件	苺の栽培関連資材の購入費補助 ・ 事業費の 25% 以内

園芸用廃プラスチック対策協議会補助金	243,000	1 件	園芸用廃プラスチックの適正処理を目的とした事業実施団体への補助（県補助金あり） ・定額補助
農用地有効活用事業奨励金	559,800	29 件	農業経営基盤強化促進法に基づく農用地の賃貸借奨励金 ・新規 10,000 円/10a
認定農業者連絡協議会補助金	500,000	1 件	効率的かつ安定的な農業経営を営む認定農業者で構成された団体への補助 ・定額補助
エコ農業推進事業補助金	1,182,700	2 件	減農薬・減化学肥料による有機農業の推進を図るため、堆肥（家畜ふん堆肥、樹皮堆肥、コケ、米ぬか、魚貝類等）を肥料とした場合の補助 ・事業費の 25% 以内
米飯給食における地産地消推進事業補助金	11,040,000	77 件	市内の米生産農家を対象とした、市内小中学校の給食に提供した米の量に応じた補助 ・提供した玄米 60 kg あたり、4,000 円を上限とする
流山市園芸団体連合会補助金	371,000	1 件	農業技術の高位平準化と生産体制の強化のため、市内出荷団体等で構成された団体への補助 ・定額補助
高品質農産物生産事業費補助金	3,427,800	45 件	農業協同組合の指導推進に基づく水稻の育苗箱施用の薬剤並びに畑の土壌消毒や葱赤錆病、スリップス等の病虫害防除の薬剤費補助 ・事業費の 30% 以内

歳出（６・１・４農地費）

補助金等名	金額(円)	件数	内容
土地改良施設 維持管理費 補助金	3,266,300	3件	土地改良区を行う土地改良施設 整備費及び土地基盤整備費で受 益面積3ha以上の事業費補助 ・事業費の1/3以内

（８）新川耕地の全体面積及び田畑面積

- ・全体面積 299.8ha
- ・田面積 184.7ha
- ・畑面積 10.1ha

※ 全体面積は、「新川耕地有効活用計画」を策定するための資料として実施した『新川耕地現況調査』（平成12年8月実施）による数値

※ 田畑面積は、流山市新川土地改良区及び流山市土地改良区の賦課面積（平成25年4月1日現在）による数値

（９）地産地消推進事業における事業費、取組内容
（平成24年度）

・事業費

年度	事業費	
	予算額	決算額
平成24年度	1,018,000円	530,286円

・取組内容

No.	項目	内 容	数量等
1	地産地消シール	流山産農産物をPRするため、直売所等で販売する農産物に貼るシールを作成	3,000 シート
2	地産地消用漬物等加工 食材販売業務委託	市民まつり会場において農産物加工品を販売	1回

3	野菜料理講習会	講師に市内農家女性を招き、広報で募集した市民を対象に、新鮮な採りたて地場産野菜を主な材料とした「たっぷり野菜の料理講習会」を開催	1回・ 19人
4	太巻き寿司教室	講師に市内農家女性を招き、広報で募集した市民を対象に、流山産コシヒカリを用いた太巻き寿司教室を開催	3会場・ 47人

69 福島第一原発事故を原因とする農産物に関する賠償について

市内農産物の出荷制限等については、原木シイタケ（露地もの）が平成23年11月18日付け原子力災害対策本部長からの指示に基づく出荷制限、又タケノコについては、平成24年3月27日付け千葉県知事からの要請に基づく出荷制限、更に柑橘類の一部については、市の指導において、簡易検査結果に基づく出荷制限となっており、現在も継続の扱いとなっています。

市内農産物生産者が被った損害に対する東京電力（株）の補償額については、下記のとおりです。

賠償対象年次	賠償件数	損害賠償金額
【とうかつ中央農業協同組合分】 平成23年4月から25年5月までの売立分	98件	17,597,300円
【生産者個人分】 平成23年4月から25年7月までの売立分	21件	10,710,345円
合 計	119件	28,307,645円

注）上記表中の賠償件数は、農産物生産者が重複する場合があります。

注）上記表中の損害賠償金額は、支払済み額となっています。